

水源の状況と天候の見通し (1月～3月)

1	東海地方の天候 (1 2月)	1
2	ダム地点の降水量 (1 2月)	1
3	水源の状況と天候の見通し	2
	(1) 水源の状況	2
	(2) 東海地方の3か月予報 (1月～3月)	4

令和3年1月6日

(公財) 愛知・豊川用水振興協会

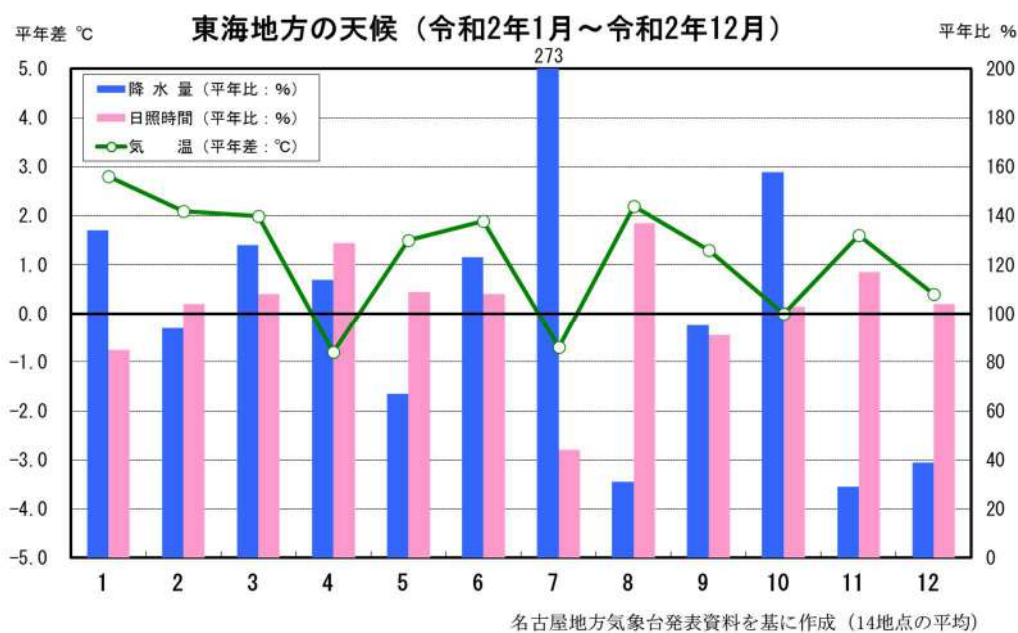
(<https://www.aitoyo.or.jp/>)

1 東海地方の天候(12月)

上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、中旬からは冬型の気圧配置となる日が多く、強い寒気が流れ込んだため雲が広がりやすく、岐阜県山間部では曇りや雪の日が多くなりました。一方、低気圧の影響を受けにくかったため、月降水量は少なくなりました。また、月平均気温は平年並となりましたが、月の前半を中心に寒気の影響を受けにくく、後半は強い寒気が流れ込んだ時期もあったため、寒暖の変動が大きくなりました。

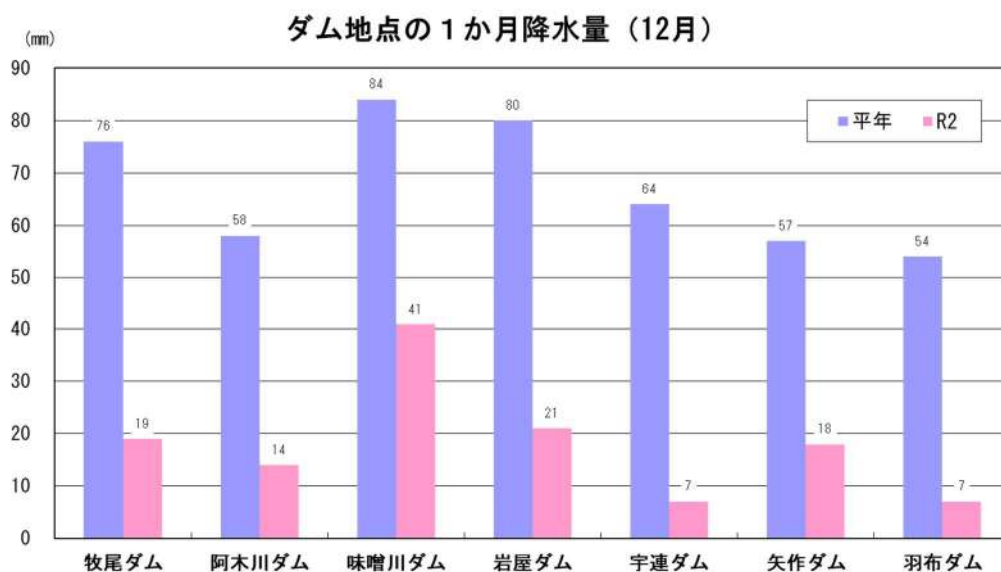
月平均気温は「平年並」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「平年並」となりました。

(名古屋地方気象台 令和3年1月5日発表資料を基に作成)



2 ダム地点の降水量(12月)

ダム地点の1か月の降水量は、7地点の平均で平年比27%となりました。



3 水源の状況と天候の見通し

(1) 水源の状況

令和2年12月31日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。
当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載して
ますので、ご覧下さい。

「あいとよネット」で検索
(<https://www.aitoyo.or.jp/>)

★ダム貯水量曲線

★水源の状況と天候の見通し(3か月予報) [月1回更新]

木曾川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

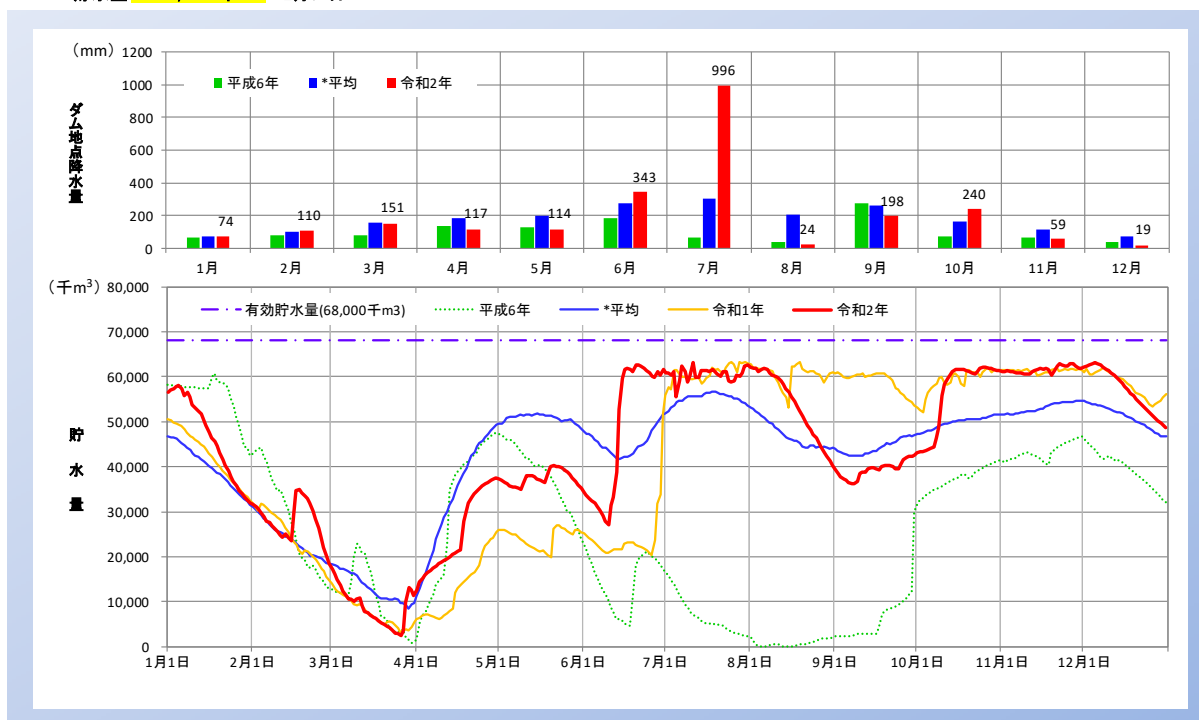
R2.12.31

水 源	利水容量 (千m ³)	貯 水 量 (千m ³)	貯水率 (%)	平年貯水率 (%)	平年との差 (%)
木曾川水系					
牧尾ダム	68,000	48,692	71.6	68.8	+ 2.8
阿木川ダム	22,000	19,159	87.1	87.0	+ 0.0
味噌川ダム	31,000	29,688	95.8	95.4	+ 0.4
岩屋ダム	61,900	57,757	93.3	94.5	△ 1.2
豊川水系					
宇連ダム	28,420	17,635	62.1	64.0	△ 1.9
豊川用水全体	51,820	37,415	72.2	77.5	△ 5.3
矢作川水系					
矢作ダム	65,000	24,300	37.4	45.7	△ 8.3
羽布ダム	18,461	16,436	89.0	69.6	+ 19.4

注) 貯水率は、当日の24時(木曾川・豊川)または9時(矢作川)の値
貯水量曲線は、ホームページ水源状況、ダム貯水量曲線に掲載

牧尾ダムの貯水量曲線

貯水量 **48,692 千m³** 12月31日

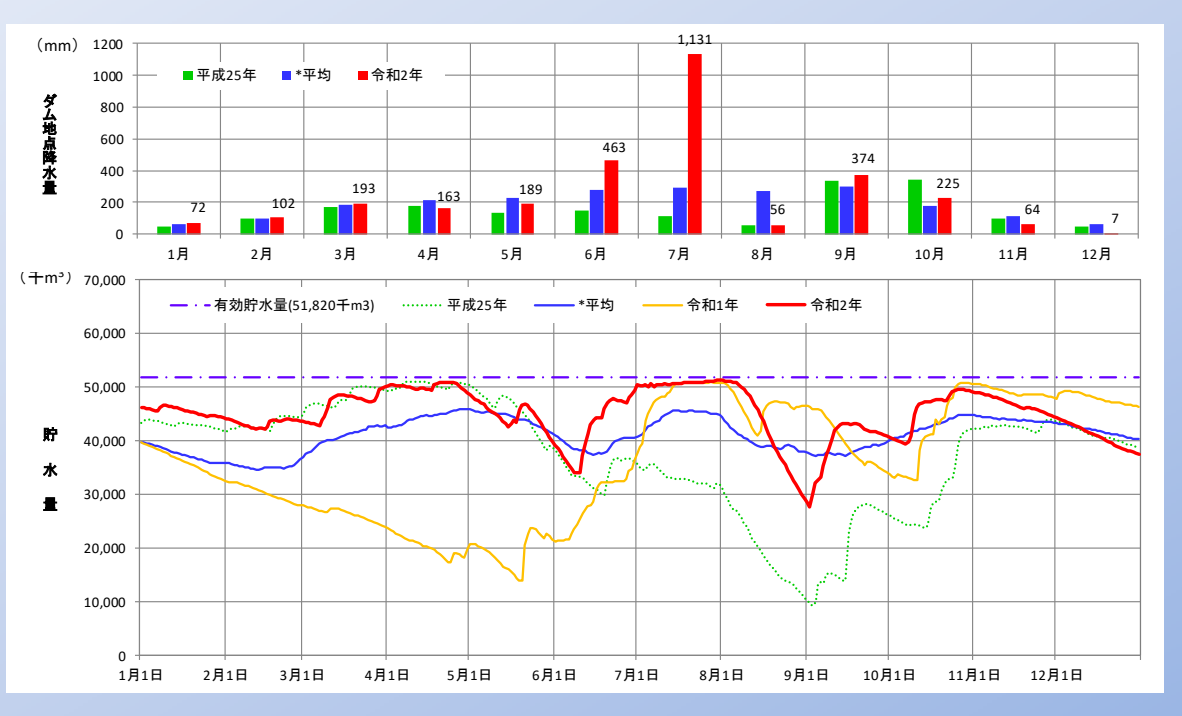


*平均: 昭和37年1月から令和1年12月

(データ提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL <https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>)

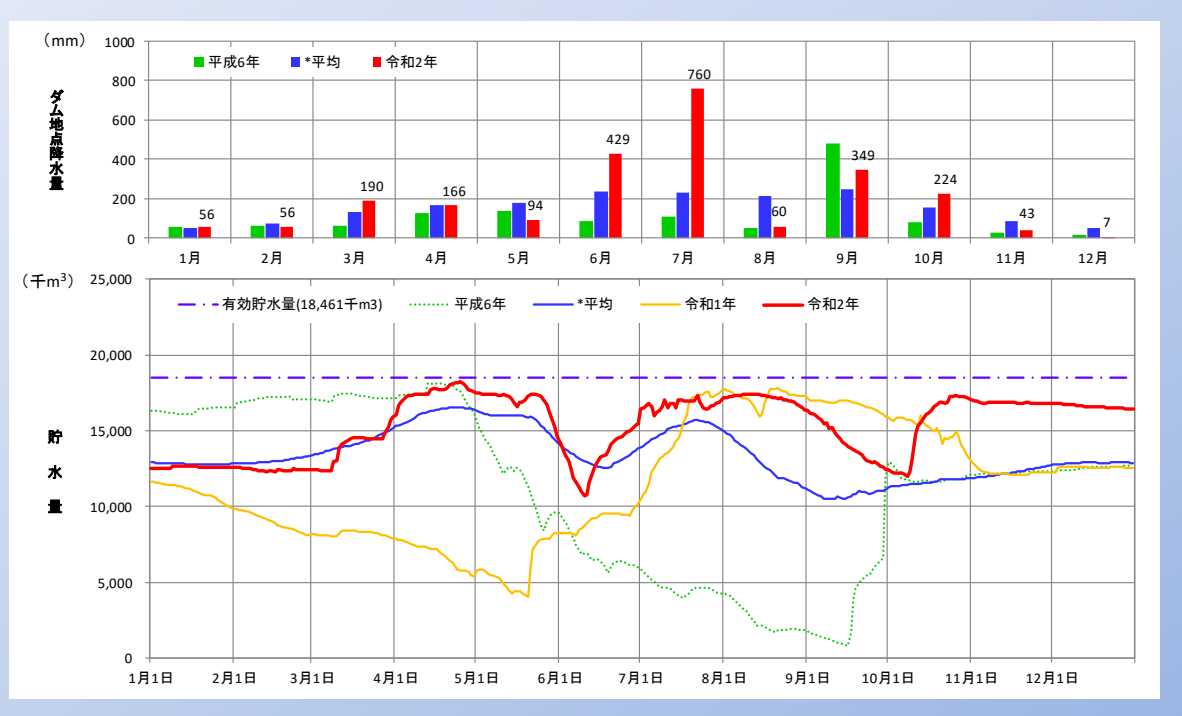
豊川用水全体の貯水量曲線

貯水量 **37,415 千m³** 12月31日



羽布ダムの貯水量曲線

貯水量 **16,436 千m³** 12月31日

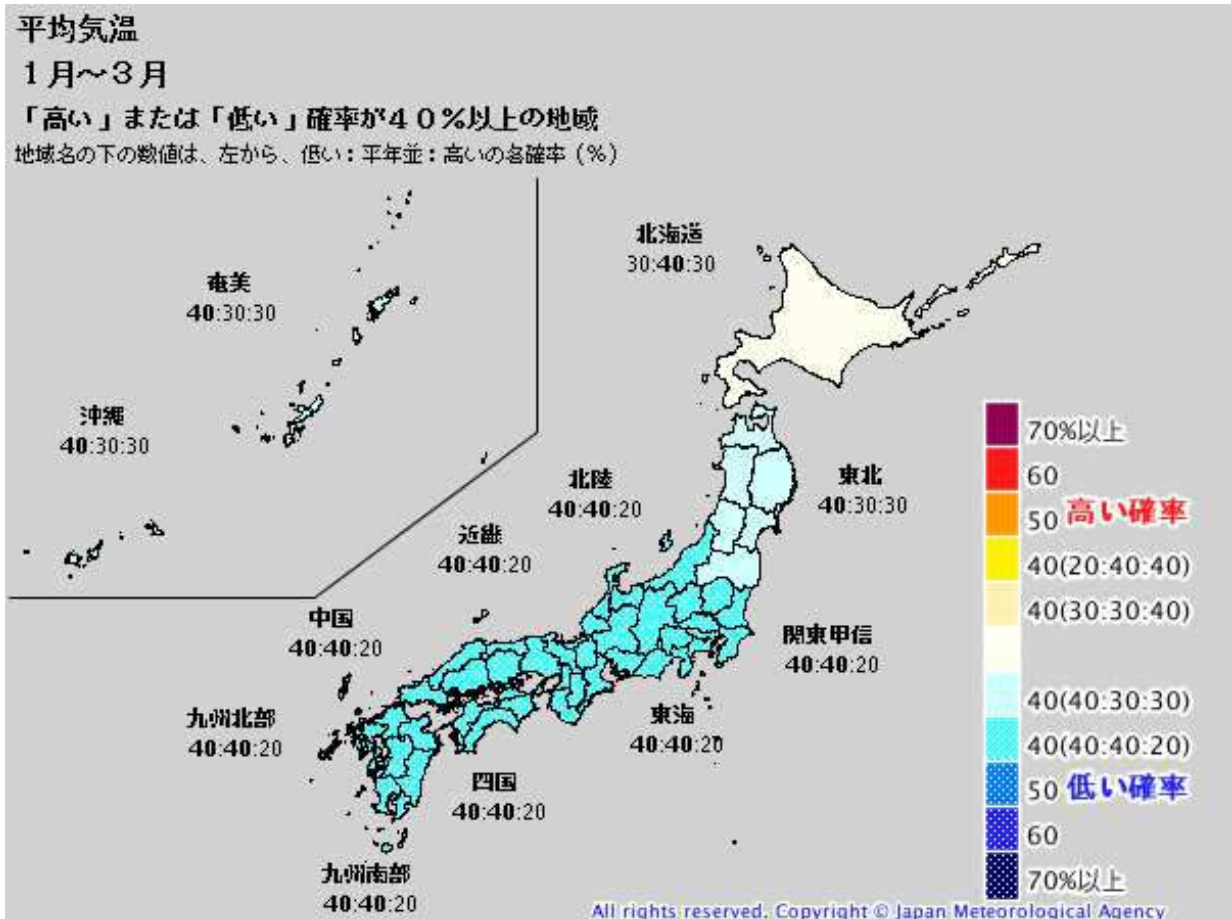


(2)東海地方の3か月予報(1月~3月)

(名古屋地方気象台 令和2年12月25日発表資料を基に作成)

① 気温

東海地方の3か月全般（1月～3月）の平均気温は、下図のように、低い確率が40%、平年並が40%、高い確率が20%の予報となっています。

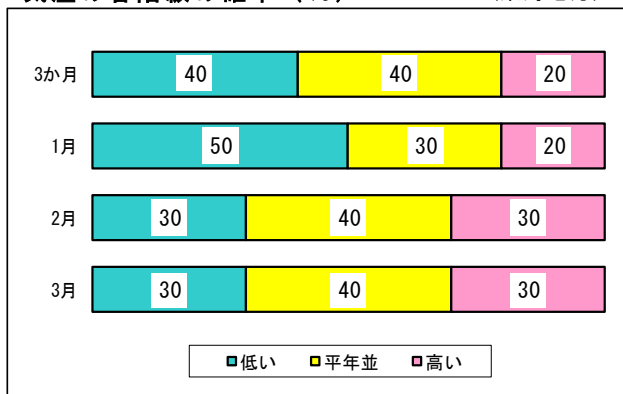


同様に、1月から3月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、3か月全般で[-2]、1月は[-3]、2月、3月は[0]となります。

気温の各階級の確率 (%) (東海地方)

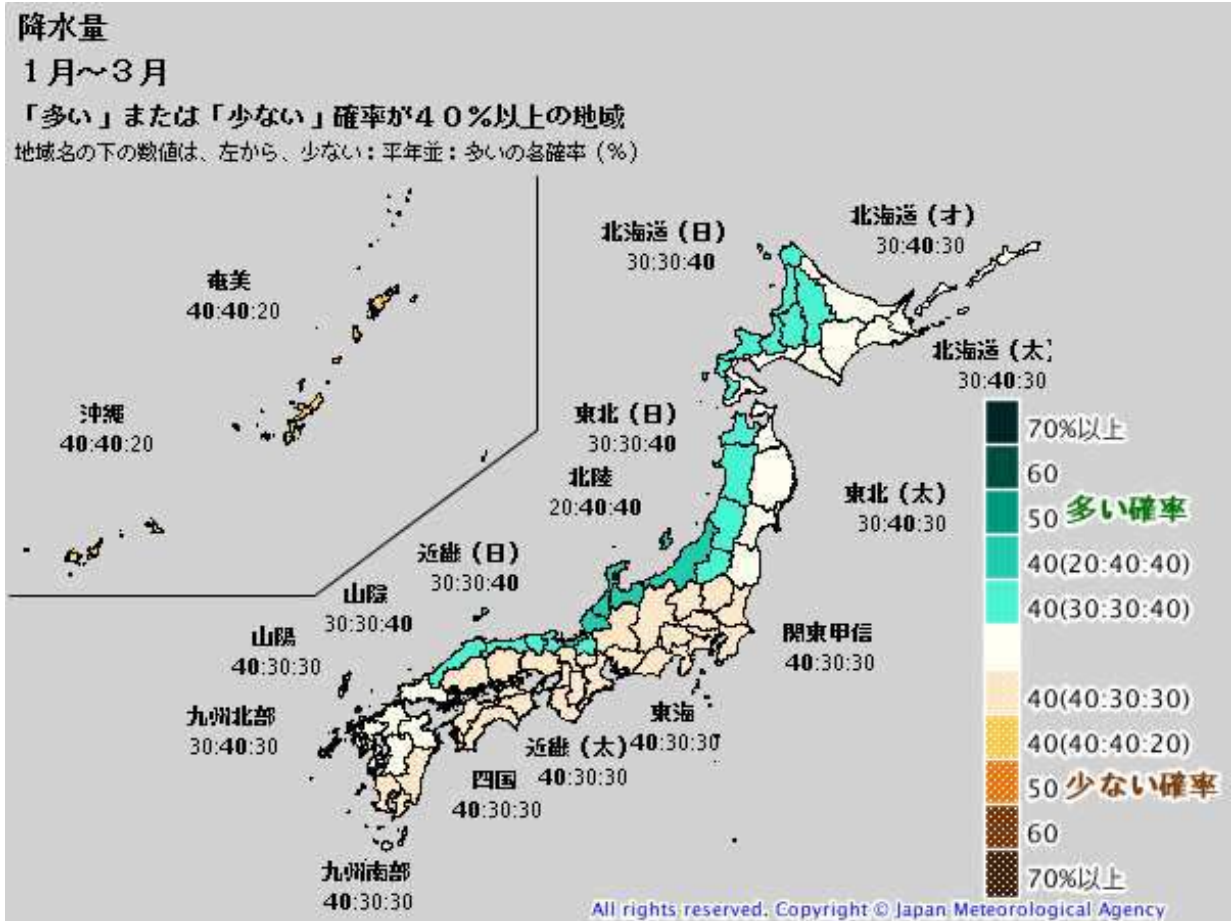


各階級の確率と等級 (東海地方)

気温	等級	予報確率	3か月	1月	2月	3月
高い	+5	: :70				
	+4	: :60				
	+3	: :50				
	+2	20:40:40				
	+1	30:30:40				
低い	0				●	●
	-1	40:30:30				
	-2	40:40:20	●			
	-3	50: : :		●		
	-4	60: : :				
-5	70: : :					

② 降水量

東海地方の3か月全般（1月～3月）の降水量は、下図のように、少ない確率が40%、平年並が30%、多い確率が30%の予報となっています。

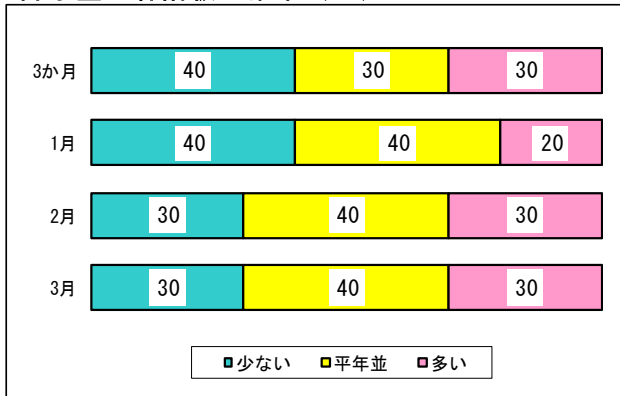


同様に、1月から3月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、3か月全般で[-1]、1月は[-2]、2月、3月は[0]となります。

降水量の各階級の確率（%） (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

降水量	等級	予報確率	3か月	1月	2月	3月
多い	+5	: :70				
	+4	: :60				
	+3	: :50				
	+2	20:40:40				
	+1	30:30:40				
0					●	●
少ない	-1	40:30:30	●			
	-2	40:40:20		●		
	-3	50: :				
	-4	60: :				
	-5	70: :				